

R Y O S Y O  
両小だより草加市立両新田小学校  
学校だより 6月号  
令和4年 6月1日  
児童数 436人

## 礼を正せば環境が変わる

校長 帆玉敬一

真夏日や猛暑日となる日もあり、晴れの日雨の日が周期的に訪れるようになり、梅雨入りも間近となりました。新型コロナウイルス感染拡大の心配もありますが、それ以上に熱中症予防に気を付けなければならない時期です。

先日、晴天の中第41回運動会を無事開催することができました。5月のゴールデンウィーク明けから、熱心に練習に取り組んできた子供たち。その成果を十分発揮し、集中して競技・演技をする立派な姿をみせてくれました。参観して下さった多くの保護者のみなさま、ありがとうございました。

その運動会でも熱中症予防のため、屋外ではマスクを外すようアナウンスしました。今月より、業間休みや昼休みに外で遊ぶ際にはマスクを外すよう声掛けを行います。また、登下校時にもマスクを外すよう指導していきます。（マスクを外した時の会話は厳禁とします。）ご家庭でもお子さんにお声掛けいただけると幸いです。よろしく願いいたします。

さて、5月中旬に学校運営協議会会長様と本校PTA会長様、私とで各自治会長様宅にご挨拶に伺いました。その際、両新田小学校区にある企業様にもご挨拶させていただきました。役員の方の計らいで、両新田小の子供たちの工場見学の参考になればと私たちを工場内に案内してくださいました。

工場内はゴミや塵一つなく、照明は明るくとてもすばらしい環境でした。皆さんは雑談ではなく、機械の調整をするための議論を行っていましたが、表情は明るくとても働きやすい場所であることが感じられました。そしてなにより感動したのは、作業中にもかかわらず部外者である私たちに、姿勢を正して帽子を取り、私たちの目を見て「こんにちは。」とはっきりした気持ちのいい声であいさつをくださった社員の方々の方々の姿でした。さすが、国内でもこの分野では一二を争う優良企業であると納得しました。

その役員の方の話では、社員が入社した当初から社内のマニュアルを活用して指導することはもちろん、上司や先輩がきちんとあいさつする姿やお客様に寄り添った対応を実際に見せることで、この姿勢が身についていくものであるということでした。

本校でも、教職員に対して気持ちのよいあいさつをする子供も増えてきました。これからも、私たち教職員が礼を正し、子供たちの手本となるよう学校関係者の方々や来校者の皆様に気持ちのこもったあいさつができる温かい環境づくりに邁進してまいります。ぜひご家庭でも、自分に関わってくださる多くの方々に気持ちのよいあいさつができるようお子さんにお話してください。

まだまだ、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながらの教育活動となりますが、できる範囲内で各行事を行う予定です。学校へお越しいただいた際に、気持ちよく過ごしていただけるよう教職員一丸となって教育環境を整えていきます。皆様のこれまで以上のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。